

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公開番号】特開 2010-176845 (P2010-176845A)

【公開日】平成 22 年 8 月 12 日 (2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報 2010-032

【出願番号】特願 2010-107433 (P2010-107433)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/135 (2006.01)

G 0 2 B 13/00 (2006.01)

G 0 2 B 13/18 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/135 A

G 0 2 B 13/00

G 0 2 B 13/18

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 27 日 (2011.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光源からの光束が入射する連続形状の第 1 の面と、
 前記第 1 の面と反対側の光ディスク基板及び光ディスク内光透過層からなる光ディスク
 に対向する側の第 2 の面とを備え、
 専ら波長が 410 nm 以下の前記レーザ光源からの光束を、
 前記光ディスクに集光する開口数 NA が 0.84 以上で、
 前記レーザ光源からの平行光束に対しては、前記光ディスク内光透過層の表面から 0.0875 mm の面間隔の位置に集光する単レンズであって、
 有効径 D が $2.0 \leq D \leq 2.1$ mm であって、
 前記第 1 の面の曲率半径 r_1 が $0.7512375 \leq r_1 \leq 0.8427213$ mm で
 あり、
 前記第 2 の面は、光軸からレンズ外径に向かって、半径 h_1 、半径 h_2 、半径 h_3 ($h_1 < h_2 < h_3$) とした場合、
 半径 h_1 、半径 h_2 、半径 h_3 での各サグ量を sag_1 、 sag_2 、 sag_3 とし、各
 サグの変化量を sag_1 、 sag_2 、 sag_3 としたときに、
 $sag_1 > sag_2$ 、及び $sag_2 < sag_3$ を満足する h_1 、 h_2 、 h_3 が
 存在する面形状であり、
 波長 405 nm での屈折率 n が $1.51 \leq n \leq 1.64$ である
 ことを特徴とする光ピックアップレンズ。